

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)5月18日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C20003
部門分類：110(稲)
発信者名：竹若

農家自ら「濁水流出防止」を呼びかける

旧甲賀町地域は、水稻の代かき作業の開始時期が周辺地域より早く、4月14日時点で約2割程度の水田で荒代かきが始まっています。そこで、甲賀町稲作経営者部会(事務局JA甲賀営農経済センター)では、農家自らが町内を巡回して濁水防止を訴える「濁水防止キャンペーン」を実施することになりました。当課は広報車を活用し、農家とともに濁水流出防止の啓発活動を行いました。

当日は、部会員の水稻農家5名が参加し、軽トラック5台と当課の広報車で、甲賀町内の各集落をくまなく巡回するコースで広報活動を行いました。また、代かき作業中の水田を見かけた際には、適宜現場に立ち止まって、農家に直接濁水流出防止を呼びかけました。

活動に参加した部会員から、「自分もそろそろ代かきを始めようと思っていたが、用水が確保できにくい地域なだけに、再心の注意を払っていこうと思う。」など、濁水流出防止に向けた思いを聞くことができました。

当課は各種部会や関係機関等と連携しながら、今後も今回のように「農家自ら」が啓発を行う、積極的な活動を支援していきます。



代かき作業中の農家に啓発している様子